



連携いあい

平成31年3月

第23号

岩手県立磐井病院

第5回公開クリニカルパス大会を終えて



公開クリニカルパス大会



講師：船田 千秋 氏



公開クリニカルパス研修会

2019年2月1日磐井病院公開クリニカルパス大会が開催された。今回の目的は、いかに煩雑な看護記録を効率よく短時間で記録できるように改変し、看護師の超勤を減らすことができるかにあった。そのためこの分野のトップランナーである名古屋大学の船田千秋先生を講師として呼び出した。

船田先生の御依頼で当院の自信のある腹腔鏡下大腸切除パスを提出したところ、アウトカム志向でない一蹴され、公開パス大会の前にパス委員のコアメンバーを集めた『アウトカム志向でパスを作ろう』研修会も公開で開かれることとなり、パス認定士に必要な点数2点を合計2つの会でもらえることとなった。

船田先生は、公開パス大会での自分の出番の5時間も前に来院し、当院パスを見て、パスを使用すれば看護記録はいらぬ指針を看護協会が昨年出したこと、当院パスの改修方法、とくに褥瘡や転倒転落の書き方の工夫を教えてくれた。

[次ページへ続く⇒⇒](#)

<岩手県立磐井病院 理念>
地域の皆様に納得のできる医療を提供します

<岩手県立磐井病院 行動指針>

- ① 患者さんの希望や背景を尊重します。
- ② 患者さんの個人情報を守ります。
- ③ 患者さんの安全に配慮し診療に全力を尽くします。
- ④ 地域における医療・介護・福祉の連携に貢献します。

Contents

- 第5回公開クリニカルパス大会を終えて・・・1,2
- 磐井病院外科における大腸癌手術について・・・2
- 摂食えん下チームの紹介・・・3
- 平成30年度地域連携パス検討会について・・・3
- 医療安全管理室からのお知らせ・・・4
- 2019年大型連休の外来診療体制について・・・4

その後、公開パス研修会が開催され、グループワークで自分たちの持っていたパスをアウトカム志向かどうか検討した。私が考えるアウトカム志向パスとは、観察項目名称とそれに紐づく観察名称管理番号 (MEDIS) の達成でアウトカムが達成されるようなパスと想っていたが、それだけではなくタスクもアウトカムが達成されるように設定されねばならないというのは目からうろこであった。そういう意味では当院の看護分野のタスクは、まったくアウトカム志向になっていなかった。



公開パス大会は、院内 39、院外 (県内) 4、院外 (県外) 1 の計 44 名が参加され、職種別では看護師 32、医師 6、薬剤師 2、事務 1、リハビリ 1、栄養士 1、MSW 1 であった。最初に院内発表「誤嚥性肺炎パスの作成」を小野寺看護師が、そのあとの補足を呼吸器科の駒木医師が行った。発表の要点は、当院にはなかった誤嚥性肺炎パスを当院データをもとに治療分野を作成し、再発予防策を盛り込み、経済的観点からも検討を行ったものであった。船田講師のご講演は、「パスから考えよう。看護記録の効率化」の題で行われた。要点には、看護協会が看護記録はパスでの記録でよいと明文化したため、みんなをよく考えて重複記載のないアウトカム志向のパスを作る必要があること、「型があるから型破り。型がなければ、それは型なし」の言葉に代表されるように個別化は標準化された後に行わなければならないこと、目標があつての標準化、セット化が必要であることなどが述べられた。施行後のアンケート調査では、5段階評価で院内発表は4以上が 91%、講演は 93%というかつてない高評価を得た。パス大会後の懇親会も 15 人程度が集まり、それぞれのテーブルでパス談議に花を咲かせた。以上、パスをやるものにとって実に実りのある1日となったわけであるが、このような幸せな1日を過ごさせていただいた船田講師に深く感謝したい。

クリニカルパス委員長 佐藤 耕一郎

磐井病院外科における大腸癌手術について

外科医長 伊藤 想一

大腸癌の新規罹患数は 2014 年にはじめて第 1 位となり、今後も増加が続くと考えられています。実際、磐井病院外科で大腸癌手術を行う患者さんの数も増加傾向です。大腸癌の手術においては、近年、腹腔鏡手術が急速に普及し、現在ではほぼ一般的と言えます。腹腔鏡手術の傷は図のように開腹手術と比べて小さく、患者さんの身体的負担は小さいと考えられています。国内外の臨床試験において、腹腔鏡手術は従来の開腹手術と比較して、長期成績 (全生存率や無再発生存率) は同等で、短期成績 (出血量や入院期間、社会復帰までの期間) は優れて

いることが示されています。

直腸癌の手術症例 (当院施行例)

当院の 2018 年の大腸癌に

腹腔鏡手術の場合

一般的な開腹手術の場合



※一例です。創の大きさは症例により異なります。

に対する腹腔鏡手術施行率は約 53% (98 例中 52 例) と約半分となっていますが、身体的負担が少ないという腹腔鏡手術のメリットは我々外科スタッフも実感しているところであり、今後、鋭意増やしていきたいと考えております。今後とも、患者さんのご紹介を是非よろしくお願い申し上げます。

摂食えん下チームの紹介

主任言語聴覚士 山桑 淑子

「食べること」は人間が生きていくために必要であり、生きる楽しみにつながることで。しかし病気や障害、加齢等によって、食べ物の通り道に何らかの問題が生じると飲み込みが悪くなり、摂食（食べること）嚥下（飲み込むこと）がうまく行えなくなることがあります。よくみられる症状はむせやのどの違和感、痰がからむ、食欲低下、体重減少等です。嚥下機能が低下すると誤嚥性肺炎、栄養障害、脱水等を引き起こします。

磐井病院では 2018 年度より摂食嚥下チームを新たに立ち上げし活動しています。以前から活動していた栄養サポートチーム（NST: nutrition support team）の下部組織として、耳鼻咽喉科医師、言語聴覚士を中心に、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、歯科衛生士など多くの医療専門職が協同で、患者さんに合った食事内容・栄養摂取方法を検討しています。

内容としては、耳鼻咽喉科医師による嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査を中心とした嚥下機能の評価と、その結果に基づいた、飲み込む力を鍛える専門的な嚥下訓練、むせにくいよう調理方法を工夫した食事の選択、食事姿勢の調整、介助方法の指導などを行います。また多職種による月 1 回のカンファレンスを行っています。

嚥下チームの立ち上げ後、各科からの嚥下評価・嚥下リハビリテーションの依頼も増加しています。これからも職員、地域の皆さんと協力しながら、口からおいしく安全に食べられるように支援する活動を進めていきたいと思ひます。



平成 30 年度地域連携パス検討会について

主事 長谷川 あや

当院を含む両磐地域の計 40 医療機関（施設を含む。）では、脳卒中と大腿骨頸部骨折の 2 疾患について「地域連携パス」を運用しています。

「地域連携パス」は、参加施設を急性期・回復期・維持期の担当に分け、各施設が連携して切れ目のない医療を提供することで早期の機能回復と治療の質の向上を図るもので、定期検討会として年 3 回参加施設が集まり運用に関する事項について協議・意見交換を行っています。



2/27（水）の今年度第 3 回検討会では、適用件数の報告のほか症例検討や各施設の現況報告等が行われました。ここ数年では、大腿骨パスの適用件数が増加し今年度も 70 件を超えていますが、脳卒中パスは運用件数が一桁に留まっており、伸び悩みが課題の一つとなっている現状です。

参加施設の皆様には、日頃からの運用に感謝申し上げますと共に、引き続きのご協力を併せてお願い致します。



脳卒中地域連携パス検討会



脳卒中地域連携パス検討会
症例検討（昭和病院）



大腿骨頸部骨折地域連携パス検討会
会長 中山 明里（当院 整形外科長）

今年度、医療安全対策加算における医療安全対策地域連携加算が新設になり、医療安全加算1の届け出医療機関（栗原市立栗原中央病院）及び医療安全対策加算2の届け出医療機関（県立大東病院）それぞれについて医療安全対策に関して評価を実施。また、当院も栗原中央病院から医療安全に関する評価を受けました。

【当院の診療報酬改訂後医療安全算定加算】

（現行）の医療安全対策加算1：85点

＋（新）医療安全対策地域連携加算1：50点

医療安全対策地域連携の利点として、

- ・他施設の専門家のチェックが入ることで問題点が明確化
- ・他施設の意見は受け入れやすい
- ・自施設にない目線のアイデアや設備改善のアイデアが得られる
- ・情報共有のきっかけとなる
- ・継続的な病院間連携が構築できる

問題点として

- ・医療安全相互チェック項目は100以上あり、訪問の準備に時間を要する
- ・病院間の評価項目に違いがある
- ・評価の内容が曖昧であり、評価項目のすり合わせが必要等

課題もありますが、医療安全の強化、改善につながられるよう連携していきますのでご支援をお願いします。



2019年大型連休の外来診療体制について

今年4～5月にかけての大型連休（GWゴールデンウィーク）は10連休となりますが、当院では連休期間中 **4月30日及び5月2日の両日、通常の平日と同様に外来診療を行います。**

（外来は原則予約患者さんが対象です。また、救急対応・紹介FAX等も通常どおり行います）

ただし、下記のとおり休診となる診療科もありますので、紹介等の際はご注意ください。

【休診の診療科】（H31年3月時点）

- ◆循環器科 ◆脳神経外科 ◆皮膚科
- ◆小児科 ◆新生児科 ◆画像診断科
- ◆外科（化学療法は対応） ◆総合診断科
- ◆放射線治療科（再来照射は実施）
- ◆婦人科（産科は診療）

4月27日 (土)	28日 (日)	29日 (祝日)	30日 (火)	5月1日 (祝)
休診	休診	休診	診療日	休診
2日 (木)	3日 (祝)	4日 (祝)	5日 (祝)	6日 (振替)
診療日	休診	休診	休診	休診



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
 電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691
 連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
 病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>
 公式 Facebook：<http://www.facebook.com/iwaihp>